

入院診療計画書② 心臓外科 腹部大動脈瘤 開腹手術

ID: 患者ID _____

氏名: 氏名 _____

新規作成日: 新規作成日 _____

年月日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	退院まで
経過	入院日	手術前日	手術当日	手術後	退院まで
目標	入院生活について理解できる。	手術について理解できる。 入院生活について理解できる。 排便のコントロールができています。	手術について理解できる。 手術に対する不安が軽減でき、手術を安全・安楽に受けることができる。	創部に異常が無い。 創痛コントロールができ、離床ができる。 排便がある。	創部に異常が無い。 排便がある。
投薬	入院中は変更が多いためお薬をお預かりし、看護師がお配りします。	☆寝る前に睡眠導入剤が内服できます。 ご希望のときは看護師にお伝えください。	朝6時に少量の水で内服してもらった薬がある場合があります。	看護師が配薬させていただきます。	
注射	手術までの間に点滴投与が開始になることがあります。			状態に応じて点滴を継続します。	
検査	適宜、採血の検査を行います。		全身麻酔下で手術を行います。	適宜、採血などの検査を行います。	
放射線	適宜、X線撮影の検査を行います。			適宜、X線撮影の検査を行います。 退院前には造影剤を使用したCT検査を行います。	
処置	身長・体重測定を実施します。 手術管理として適宜血糖測定実施します。	適宜血糖測定を実施します。	看護師が用意した手術着に着替えます。 眼鏡、義歯、指輪、ピン類は外してください。	朝9時前後から医師の回診がありますのでベットでお待ちください。 適宜血糖測定を実施します。	
安静度	医師から特別な注意がない限り、制限はございません。 病棟を離れるときはスタッフに一声おかけください。		車椅子で手術室へ向かいます。	活動の範囲には状態に応じた制限があります。 リハビリが開始されます。	
看護情報	必要な場合、呼吸訓練の道具を購入していただき、看護師、または理学療法士が使用方法をお伝えします。		術後は集中治療室に入ります。	通常であれば集中治療室を出て一般病棟に戻ります	毎回尿量測定をしてください。
清潔	特別な制限が無ければ感染予防のために、シャワーに入ります。 爪を切ってください。マニキュアはおとしてください。		清潔更衣はおこなえません。	看護師介助のもと、清拭を行います。	状態に応じてシャワー浴が可能になります。
食事	手術に向けて治療食を提供いたします。 持ち込み食はご遠慮ください。	21時以降は食事は禁止になります。 深夜24時から飲水も禁止となります。	食事・飲水共に制限があります。	治療食になります。持ち込みは禁止させていただきます。	
説明	手術前日までの間に医師から手術に向けた説明があります。 また看護師からも手術に向けた準備の説明があります。 リハビリが開始されます。		看護師が荷物をお預かりします。 貴重品はご家族にお渡しします。 ご家族は家族控え室へ御案内します。	回復に応じてリハビリが実施されます。 術後より、腹帯を着用して頂きます。	
観察点	14時と20時に検温を行います。	1日4回検温を行います。	6時に検温を行います。	1日4回検温を行います。	
確認事項	入院後から手術までの間で、医師から手術についての説明があります。ご家族も同席をお願いいたします。 また医師からの説明後に看護師からの手術オリエンテーションがあります。その際に腹帯や呼吸訓練の道具など必要な物品を確認いたしますので、手術前日までに揃えておいていただくようお願いいたします。	荷物の最終チェックを行います。 お預かりする荷物以外は自宅に持って帰っていただきます（集中治療室はたくさんの荷物を置く場所がありません） ☆手術に必要な荷物を確認しますので、準備しておいてください。 ☆麻酔科の医師の診察があります。 ※日にちを変更する事があります。 ☆手術室の看護師と集中治療室の看護師が説明をしに来ます。 ☆同意書類は看護師に渡してください。	手術後は集中治療室に入るため、お預かりする荷物以外はお持ち帰りいただくこととなります。 ご家族は手術室までお見送り後に、集中治療室控室にてお待ちいただきます。 基本的には必ずどなたかが待機する様お願いいたします。 席を離れる際は、看護師に一声おかけください。	退院までには血糖測定や尿量測定など患者さんに負担となる行為が多く存在しますが、ご協力とご理解の程よろしくお願いたします。 実施されている内容等に疑問などあれば、いつでもお声かけください。	